令和 8 年 6 月1日
第 229 号

やかたばら環境通信

◇◇ 発行 ◇◇
八方原の環境を守る会
代表 中村丈二
電話 972・6606

5/6水路清掃と4/29泥上げに延べ58名の参加



作業前のミーティング



水路のゲート部分にはかなりの量の土砂が堆積している

5月6日は、地域の水路全般を掃除する作業が行われました。この作業は自治会の行事として行われますので33名の参加者がありました。

昨年の天候が比較的に穏やかで、山からの泥水の流れ込みが少なかったので、毎年山のように堆積している個所も土砂があまり多くなく、作業は比較的楽に行われました。それでも2トン積みのダンプカーに数杯分の土砂が水路から引き揚げられました。

もう一つの作業は落水（悪水）側の泥上げです。この作業は農家が中心になりますが、非常にきつい作業となります。今年度は4月29日に行われました。

排水路は一年分の土砂と、春から元気になった雑草の「攻撃」から水路を護る作業です。また県道の法面に繁茂する雑木や雑草も，水流の妨げにならないように除去することも必要になります。

奮闘すること3時間、何とか水路の確保ができました。連休は泥上げに始まり、清掃で締めくくりました。



西側外周の水路には土砂以外のものも少なくない

今回の水路清掃、排水路の泥上げには、地区外の人がたくさん参加してくださいました。

これは昨年から始まった環境保全作業のネット上での募集や参加を受け付ける新たな仕組み「お結び掲示板」のおかげです。

このシステムは大いに可能性があると考え当会では、昨年度から登録を行い運用を行ってきました。今回は一般の方々より「行政関係者」の方が多かったのですが、それ以外の参加の方も何名かおられました。

今後は、地区外の人材の力も借りて作業を考えていくことも重要です。

お結び掲示板を活用



「農村を守っていこう」と書かれたトップページ

公民館での避難訓練

公民館の避難訓練が4月29日に実施されました。消防署とのやり取りで「実施の必要はない、あると二転三転している」と、杉山自治会長は苦笑しておられました。

通報のポイントは住所地番まで伝えることとのこと。



通報訓練の後に模擬消火器で訓練

定期的なこまやかな雑草管理が必要



排水3号（金原・西ノ池間）の水路雑草管理（4月17日）

5月、7月、9月は圃場所有者の方々には関係する水路に面した部分について雑草管理をお願いしています。

一般の畔草管理と多面的機能支払制度の雑草管理対象についての違いについて説明します。共同作業の日当支払はあくまでも共有部分についてのみです。主には落水側の水路側法面となります。圃場側は対象になりません。それ以外は営農作業とみなされます。

気温はそれほど高くありませんが、5月の日差しは、7月とほぼ同様です。夏の厳しい暑さの中の作業は、大変ハードです。日差しを避けながらの作業を心がけましょう。

取水口の管理道路の新設をお願い



九田川放水ゲートから取水口まで（赤線部分）

小紙4月号で農業用水取水口の土砂除去作業についてお伝えしました。この作業は年に一回、椹野川の水位が下がる時しか行なうことができません。水利関係者はこの作業に困っていました。川は土砂を運んできますので、年々取水口周辺の状況が悪くなってきているのです。

夏の熱い時期になって、雨量も少ない時には椹野川の水位が下がってしまうことがあります。その際に取水口の前に堆積した土砂が水中の土手になってしまい、十分に取水口に流れてこなくなることがあります。

その土砂を取り除くのは、通常は人力では無理です。小型パワーショベルが使えれば作業は可能になりそうですが、椹野川の堤防には重機が走行できるところはありません。

そこで河川管理者である県の担当課に、通路の新設をお願いしてみることになりました。書類の提出は終わっていますが、様々な問題を乗り越えられるかどうかは分かりません。

時間の流れは、思いもよらない問題を連れてくることになります。

頑張る「ナデシコ」



あでやかに咲き誇るナデシコ

八方原の環境を守る会の花壇にナデシコを植えています。昨年の9月に植えたのですが、この春になってますます元気になってきました。

植物の生命力は想像以上です。あとはこちらのお世話次第です。

LINEのグループへの参加

八方原自治会緊急連絡網のラインググループへの参加手続きを変更します。

左のQRコードをご自身のラインの友達追加機能で読み込んでください。

管理者の副自治会長原田茂樹と友だちになります。その後にグループへの招待を行います。

八方原地区緊急連絡
Eメールの登録